



Title	詞林 第4号 表紙/目次
Author(s)	
Citation	詞林. 1988, 4
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/67257">https://hdl.handle.net/11094/67257</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 詞林

SHIRIN

第四号

大島本源氏物語の本文

—書入れ・ミセケチ一覽（二）……………伊井 春樹（1）

「桐壺」・「夕顔」諸本の検討

—データベース活用の初步的試み—……………大谷 晋也（16）

紫上の論

—中の品の女性として—……………胡 秀敏（25）

定家所用本「狭衣物語」

—「百番歌合」依拠本文の考察—……………西堀 薫（34）

大江匡房作「大唐大慈恩寺大師画讚」について・続考 劍持 雄一（46）

二号目次（昭和六十二年十一月）

三号目次（昭和六十三年五月）

清輔本古今和歌集内裏切の一分類

—顕昭注と基俊本校合を持つ内裏切—……田島智子

『一条撰政御集』論

—「とよかげ」の部の特質—……堤和博

師説自見集「光源氏巻々注少々」の成立過程

—冷泉家における『紫明抄』の撰取—……岩坪健

「職人歌合」の詠風

—『七十一番職人歌合』の場合—……岩崎佳枝

引用されたことばと擬声・擬態語と

—「引用」の位置づけのために—……藤田保幸

紹介 岩崎佳枝著『職人歌合』

山本唯一

大島本源氏物語の本文

—『源氏物語大成』底本の問題点—……伊井春樹

朧月夜の尚侍就任による今上妃との兼帶について

—賢木巻断章の新視座として—……山中和也

今川了俊の源氏学

—「光源氏巻々注少々」から伊予切へ—……岩坪健

後葉和歌集の詠諸歌

佐藤明浩

『撰集抄』の方法

—仮託説話・非仮託説話併存の意味に向けて—……近本謙介